

小坂井 実 議員



## 同報無線のポールに、海拔ゼロメートル地点の表示を

問

伊勢湾台風から50年、半世紀がたち、9月6日に市総合防災訓練が実施されたが、市の防災に対し次のことを尋ねる。

- (1) 地域防災計画に重要水防個所として木曾川左岸堤の漏水個所が載っているが、市としての対応は。
- (2) 風水害や地震が来て、市役所が被災した場合のバックアップ体制は。
- (3) 東海地震、あるいは東南海地震の緊急地震速報は同報無線「1」関連記事15・19面・【】で流れるか。

市内90カ所のスピーカーカーで、防災情報等を放送する設備。1月より市全域で放送している。

(4) 市ハザードマップでは、(堤防が決壊する)水害が起きた場合、全域が水の下になる。

そこで、市内各地の同報無線のポールに、海拔ゼロメートル地点が分かるように表示できないか。

(5) 同報無線の「広報やこみ」のアクセントで、「や」が強調されている発音個所を改善してほしい。

男性の声で聞き取りにくいので、女性に吹き替えてほしい。

### 前向きに検討していきたい

答 防災安全課長

(1) 木曾川水系の重要水防個所は、国の資料を基に指定され、木曾川左岸堤漏水堤防断面対策として、20・21年度継続事業で五明築堤護岸工事が進められている。

これらの対策については、毎年実施している国との事業連絡調整会議で、早急に対策を講じるよう引き続き要望していく。

(2) 災害対策本部、無線関係設備については市役所の2階に設置。

また本庁舎が被災したときは、十四山支所に無線室や会議室があり、そこに災害対策本部を設置し対応していきたい。

(3) 緊急地震速報は、信号音の後で「大おお地震が来ます」という情報が流れる。

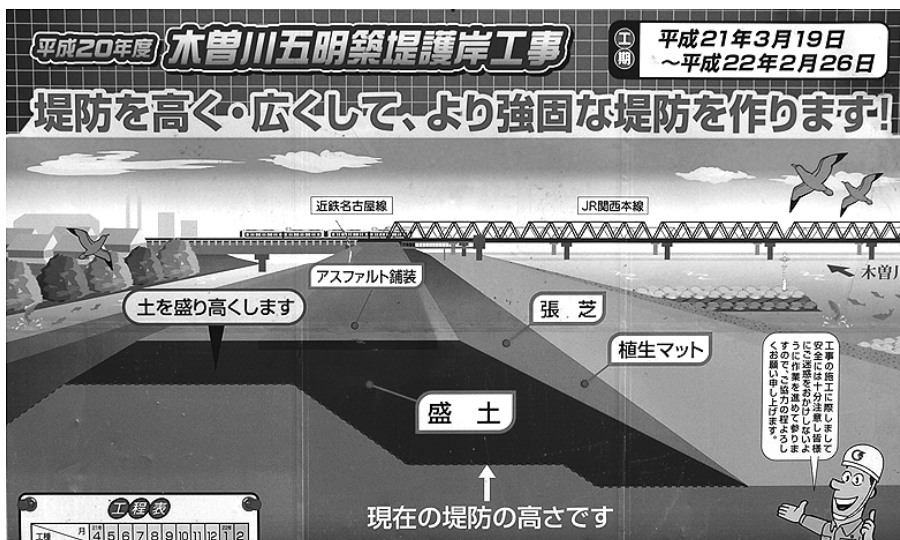
答 市長

(4) 同報無線は地域にほぼ1本ずつあり、ゼロメートル表示をすることを前向きに

検討していきたい。

答 総務部長

(5) 業者に指示しており、変える方向で早急に進めている。



木曾川五明築堤護岸工事の看板